

# 新風

発行 神石高原町議会議員

## 木野山孝志 後援会

平成28年07月15日 NO.40

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

### 平成28年度 6月定例会

#### 6月補正予算

#### トマト選果場（陽光の里）

#### 病院会計などに

#### 予算措置

6月定例会は7日から16日まで開かれ、平成27年度各会計補正予算、条例の一部改正など17議案を審議し、原案のとおり可決・承認しました。また繰越明許費繰越計算書、平成27年度各第3セクター経営状況の報告がありました。

#### ＜補正予算の主なもの＞

6月補正予算は表（総括表は次ページ）のとおりです。合計で8億1297万円の増額補正となりました。

#### 職員給与費の減額

職員数が4名減の152名となり職員給与費が、5462万円減額補正されました。

#### 本庁舎耐震化調査

##### を実施

本庁舎耐の南館は先の耐震調査の結果、耐震強度が低い事が判明しました。

今後の対策として、本庁舎を耐震強化した場合の、工法、概算事業費等を調査します。

#### トマト選果場設備更新

平成8～9年整備の豊松陽光の里トマト選果場の老朽化対策として設備更新を行います。選果機4条ライン導入など年間生産量1600tに対応する。総工費は3億7500万円。産地パワーアップ事業（国費1/2補助）にて実施されます。

#### 介護施設整備事業

町立病院の療養病床12床を平成28年度中に廃止する方針に伴って、町内の老人保健施設（ビープル）に受け皿として施設整備費を補助（10床分を予定621万円）。

（次ページ下段へ続く）

#### 平成28年6月補正（一般会計）

（単位：万円）四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容 （単位：万円）
議会費	-▲21	8546	職員人件費
総務費	-▲384	18億0355	特別職・職員人件費▲1759、庁舎管理耐震202、協働支援センター繰越971、自治宝くじ助成（常光・上）480、公共交通対策費108、見舞等経費24
民生費	1513	18億0061	職員人件費▲490、臨時福祉・子育て特例給付金給付事業1418、保育所（こばたけ・油木）施設管理1462、保育所運営経費218
衛生費	6472	12億4086	職員人件費25、飲料水対策（木津和・八幡）107、病院会計補助（政策医療交付金等）6305、クリーンセンター神石120
農林水産費	3億6120	10億6570	農業委員会経費187、農業団体育成（黄金の里井関）254、農産物販売促進230、産地パワーアップ事業（陽光の里（選果システム））3億7500、畜産振興236、地籍調査▲1824
商工費	363	1億4420	職員人件費▲63、起業支援サポ-ト300
土木費	-▲579	7億1512	職員人件費▲579
消防費	—	4億6065	—
教育費	-▲850	7億6708	職員人件費▲1,333、油木高校支援1000、協働調理場▲232
災害復旧費		3	—
公債費	1億8930		長期債元金繰上償還経費1億8930
諸支出金	9065	5億8756	財政調整基金積立5947、保健医療福祉基金積立856、協働のまちづくり事業基金積立2262
予備費		4000	
合計	7億0629	102億7629	

# なにがどうなる

条例改正など

おもなもの

## <条例制定・改正>

○農業協同組合法の農業委員会関連法案が改正され、農業委員会委員とこの度新たに設置される「農地利用適正化推進委員」の定数を新たに決めました。

※この条例により、農業委員選挙による委員定数条例、農業委員の団体推薦条例は廃止されました。

○この度新たに設置される「農地利用適正化推進委員」の報酬を決めました。

職 名	定 数	報酬の額	
農業委員会会長	14人(改)	年額	315,000円
// 会長職務代理者		年額	265,000円
農業委員		年額	245,000円
農地利用適正化推進委員	14人(新)	年額	173,000円(新)

○町立病院が介護予防訪問リハビリテーション及び訪問リハビリテーション事業を新規に開始する事になりました。開始に伴い「利用料金・手数料」の改正を行いました。

○消防デジタル無線が整備されました。それに伴い移動無線局の名称など変更されました。

○公の施設の指定管理者の指定

施設の名称	管理者団体の名称	期 間
上グラウンド	上自治振興会	H28.7.1~H29.3.31

## 平成28年度予算会計別総括表

単位: 万円(四捨五入)

会 計 名		H28年度		
		6月補正額	6月補正後予算額	
一 般 会 計		7億0629	1,02億7,629	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	532	12億7,912	人件費▲179、財政調整基金積立660
	後 期 高 齢 者 医 療	310	3億8,660	繰出金262
	介 護 保 険	3137	19億4,687	介護施設整備621、精算返納金2441
	簡 易 水 道 事 業	289	3億9,009	維持管理費258
	飲 料 水 供 設 事 業	95	3,615	維持管理費95
	農 業 集 落 排 水 事 業		2億4,670	
	分 収 育 林 事 業		10	
	総 合 開 発 事 業		590	
	特別会計計	4363	42億9,153	
病 院 事 業 会 計		6305	3億9,502	政策医療交付金6274
合 計		8億1297	149億6284	
特別会計+病院事業会計		1億0668	46億8,655	

(前ページより)  
**県立油木高校へ**

**教育支援**

油木高校活性化・魅力化プロジェクト委員会からの提言を受け、油木高校を育てる会へ補助。使途を定めず交付されます。予算は1000万円

**政策医療交付金**

**を追加交付**

町立病院へは総合病院としての運営補助として平成26年度より1億3900万円/年が交付されていましたが、平成27年度精算の結果、不採算となる経費分6274万円が追加交付されました。

# 第三セクター奮戦中

## 平成27年度決算

平成27年度第3セクターの決算報告がありました。スコラ、百彩館に於いて前年度と比べ売上高が増加しました。

昨年はお盆の時期に国道182号線が崩落によ

さんわ182ステーション 売上明細表					単位:万円
					売上
市場	売上	高			2億6,328
売店	売上	高			2,365
軽食	売上	高			960
自販機	売上	高			778
その他	売上	高			149
ローソン	売上	高			1億3,154
合計					4億3,734

赤字決算は百彩館のみ。

**百彩館**売上額は8319万円と前年対比8.2%増となった。果物など新商品の品そろえやイベントを積極的に行い売上アップ対策を講じた結果、野菜・加工品の売上が増加した。天候も比較的安定したこと好結果に繋がった。今後は経費の節減による赤字の解消に努めたい。補助金収入はLED設備

補助金を除き118万円。

**まるごと市場**近隣スー

パーとの競争が激化したうえ店外販売も減少し、売上額は1億9760万円と5.8%減となったが、荒利率が25%と高く、地代を店舗で336万円、店外ブース等で177万円支払っているにも関わらず税引き前で299万円の利益を確保した。別枠での地代600万円を加えると全体での赤字体制は変わらない。

**農業公社**トマト、育苗事業の減作業受託、収穫、

農業生産、公共施設管理収入等でカバーし154万円の黒字。売上高は7103万円(▲4.2%)。補助金収入は600万円。

**スコラ**各種イベント・グ

ラウンドゴルフ等の企画、天候の安定、プレミアム商品券事業等により売上高は9492万円と昨年に引き続き増(13.3%)となった。売上の大幅な伸びと受託業務等により税引き前利益を221万円計上した。

皿づくり等企画力・営業力の強化に努められた。

また、施設はかなり老朽化しており指定管理の在り様も再検討すべきだ。

**さんわ182ステーション**

国道182号線の2度に亘る交通止めの影響で来客数(▲3%)・売上(▲1%)ともに減となった。

来客層の内、約7割が福山エリアからであり、売上は昨年に引き続きローソン部門(約2%増)を除き各部門とも16%減少した。

単価は増加してしまいが、一年を通しての経営収支は厳しく、人件費の削減、商品の発注・品揃えが今後の課題とのこと。4年を経過し、経営収支は、少しづつ改善してはいますが、厳しい状況は開店初年度とあまり変わり無く、累積赤字もかなりの額となっていると思われます。地域に密着し、町内外の皆さまに大変喜んで頂いており、相乗効果で産品市場など各部門の売上に貢献しているとの事ですが、赤字部分は他部門からの補填となりますので今後検討の余地ありではないでしょうか。

(有)さんわ182ST



(有)油木特産販売  
百彩館



(有)神石高原直売公  
社 まるごと市場



(株)神石高原農業  
公社



(株)帝釈峡スコラ



\*表の見方 単位:万円  
上段の数値:総収入  
下段の数値:総費用



# 一般質問

## 「長期総合計画の策定について」

本町は、本年度、平成19年に定めた長期総合計画が10年を経過し新たに平成29年度から平成38年度までの長期総合計画の策定に着手します。

いうまでもなく長期総合計画は町のめざす将来像と将来の目標を明らかにし、これらを実現させるための基本的な施策の大綱を示すものです。町のビジョンを示し地域づくりの最上位に位置づけられる計画です。

平成21年度に公債費負担適正化計画に沿っての見直しを経て、今日を迎えますが、その間長期総合計画を基本に過疎地域自立促進計画などの見直し、新町建設計画の見直しなども実施されています。

我々の住むこの神石高原町のあるべき姿が示されるだけに、町民の関心は最たるものがあるかとおもいます。

以下長期総合計画について質問しました。

木野山、①策定におけるスケジュールと基本的な考え方。  
②一次長期総合計画目標値の達成度とその評価。  
③他の計画との整合性について伺う。

町長 ①●6月21日第1回審議会・諮問。平成29年2月審議会答申。3月議会議決の予定。  
●各計画との整合を図りながら、人口減少社会の中、各種

の政策課題に対して住民と行政の協働による将来像を描く。  
②住民アンケートを実施し、達成度と評価を行う。  
③●第2次長期総合計画は昨年策定の「総合戦略」との整合性を考え、前期3年、後期5年の8年間とする。  
●各計画は事業ごとでの計画となっており齟齬が無いようにする。

●財政運営も必須であり財政推計も行う。

木野山長期総合計画は、基本的方向性を示す「基本構想」それに基づく基本的施策を定めた「基本計画」具体的実施事業を定め毎年度の事業費が明記される「実施計画」の三重構造である。執行部は、議会の議決事項としてどの段階までと考えているのか。スケジュールにも関連する。

まちづくり推進課長「実施計画」は個別の細部に亘る事業計画で予算や財源などが伴うので毎年度の当初予算で提案する。実質的には新町計画や過疎自立促進計画が長期総合計画の実施計画と理解頂きたい。

大所高所から見た大きな括りで神石高原町の将来を表現した「基本構想」「基本計画」のところで議決をお願いしたい。

番大きな条例である。その意味で町長を筆頭にこの12年間頑張ってきたと思います。協働支援センターも発足し「協働」を主語に置いたこの長期総合計画により、本町が大きな一歩を踏み出したと考えている。

木野山町民が関心があるのは細かい実施計画だと思う。これの達成度が満足度を測る基礎となる。しっかりと検証する必要があると思うがどうか。

町長 しっかりと検証して、不十分などところはお互い知りながら次に生かす方向で将来の大きなビジョンに繋げたい。

木野山長期総合計画は総花的なものといっても細かい計画の積上げで策定される。個別の計画が示されないとまちの将来像が具体的に見えない。この部分はしっかりと議論すべきと思う。

町民に分かり易い形で「長期総合計画」の策定をお願いしたい。



H28.6.12 文化の里 高蓋芸能祭り